

科目コード	E3142	科目名	聴覚障害児の心理・生理・病理と指導				
履修区分	教育課程表参照	開講期	3年前期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	川合 紀宗						
授業の概要	聴覚障害のある幼児児童生徒に対する教育的支援の制度・実践的側面、聴覚障害の心理・生理・病理的側面に関する基本的な事項の知識を身につけ、聴覚障害教育の在り方について学習する。						
DPとの関連	平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける						
	人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける						
	修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける						
	教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける						
	社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力						
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	聴覚障害教育について考える際に基盤となる事項について、基礎的な知識を身につけることができる。 聴覚障害教育の実践について、幼児児童生徒の発達段階を追い、具体的に教育の内容と方法を理解することができる。 聴覚障害の心理・生理・病理的側面に関する基本的な事項を理解することができる。 聴覚障害教育の望ましいあり方について主体的に考え、話し合うことができる。						
履修上の注意事項	コースによって「履修区分」が違います。教育課程表をよく確認してから、履修登録を行ってください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	聴覚障害とは					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害の基盤の情報について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	2	聴覚障害教育の歴史的展開					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害の歴史的背景について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	3	聴覚障害教育の解剖学					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害の解剖学について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	4	聴覚障害教育の生理学					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害の生理学について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	5	聴覚障害教育の病理（概論）					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害の病理に関する基盤の情報について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	6	聴覚障害の原因・病因					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害の原因や病院に関する情報について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	7	聴覚障害児の心理（概論）					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害の心理的側面に関する基盤の情報について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	8	聴覚障害児の発達心理学的側面					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害の発達心理学的側面について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	9	聴覚障害児の学習心理学的側面					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害の学習心理学的側面について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	10	聴覚障害児のコミュニケーション					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害児のコミュニケーション方法について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	11	聴覚障害児の評価・測定					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害のアセスメントの在り方について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	12	聴覚障害児の教育課程					事前：配布資料に目を通し、聴覚障害のある幼児児童生徒に対する教育課程について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	13	特別支援学校に在籍する聴覚障害児に対する支援の現状と課題					事前：配布資料に目を通し、特別支援学校における聴覚障害のある幼児児童生徒に対する支援について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	14	特別支援学級に在籍する聴覚障害児に対する支援の現状と課題					前：配布資料に目を通し、特別支援学級に在籍する聴覚障害のある児童生徒に対する支援について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
	15	通級による指導を受けている聴覚障害児に対する支援の現状と課題					前：配布資料に目を通し、通級による指導を受けている聴覚障害のある幼児児童生徒に対する支援について情報収集する（90分）事後：関連資料を検索、閲覧し理解を深める（120分）
成績評価方法	授業中の積極的な参加（質疑応答、グループワーク等：40%）や課題レポートの内容（60%）によって評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	「聴覚障害教育の手引」文部科学省・ジアース教育新社					978-4863715622	
参考書	「聴覚障害児の教育と方法」 草薙進郎・四日市章編（コレール社）						
	「聴覚障害教育 これまでとこれから:コミュニケーション論争・9歳の壁・障害認識を中心に」 脳中起余子（北大路書房）						
教員からのメッセージ	聴覚障害の基礎を学ぶことで、認知や言語、学習のメカニズムやコミュニケーションの基礎についても学ぶことができます。						
教員との連絡方法	nkawai@hiroshima-u.ac.jp						
実務経験のある教員	米国の学校や病院、大学附属クリニックにて言語療法士として言語治療や大学院生の指導経験がある。聾学校・養護学校教員専修免許状・言語聴覚士・公認心理師の資格を有し、現所属先でも障害のある幼児児童生徒の指導経験がある。						